

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第3区分
 【発行日】平成17年11月17日(2005.11.17)

【公表番号】特表2004-538699(P2004-538699A)
 【公表日】平成16年12月24日(2004.12.24)
 【年通号数】公開・登録公報2004-050
 【出願番号】特願2003-519901(P2003-519901)
 【国際特許分類第7版】

H 0 4 Q 9/00

F 2 4 F 11/02

【F I】

H 0 4 Q 9/00 3 3 1 Z

F 2 4 F 11/02 1 0 4 A

【手続補正書】

【提出日】平成16年4月12日(2004.4.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1自動動作モードと第2手動動作モードという少なくとも2つの動作モードを備える所謂ホームオートメーションタイプの快適性管理システムの遠隔制御装置であって、少なくとも1つの遠隔制御送信機(4)と制御キーパッド(5)を有するボックス(2)から構成された遠隔制御ユニットを有し、前記ボックス(2)は、前記第1動作モードに対応する第1位置、(A)、と、前記第2動作モードに対応する少なくとも1つの第2位置(B)との間において移動可能に支持部(3)内に取り付けられており、前記支持部(3)に対する前記ボックス(2)の位置を検出する手段(13)と、前記ボックスの検出された位置の関数として前記動作モードの変更を実現する手段(14)と、を有する所謂ホームオートメーションタイプの快適性管理システムの遠隔制御装置。

【請求項2】

前記ボックス(2)は、前記支持部(3)内において平行移動可能に取り付けられている請求項1記載の所謂ホームオートメーションタイプの快適性管理システムの遠隔制御装置。

【請求項3】

前記支持部(3)に対する前記ボックス(2)の位置を検出する手段は、少なくとも1つのセンサ(13)を有し、前記ボックスの検出された位置の関数として前記動作モードの変更を実現する手段は、プロセッサ(14)を有している請求項1又は2記載の所謂ホームオートメーションタイプの快適性管理システムの遠隔制御装置。

【請求項4】

前記センサ(13)は、プッシュボタン、又は磁気遮断器、又はホール効果遮断器である請求項3記載の所謂ホームオートメーションタイプの快適性管理システムの遠隔制御装置。

【請求項5】

前記ボックス(2)は、細長く、実質的に平行六面体の形状からなり、前記支持部(3)は、例えば、下部縁部(6)と2つの側縁部(7、8)を有するように、U字形状を備えた上部が開放されたフレームであり、前記メインボックス(2)は、前記第1位置(A)から少

なくとも1つの第2位置（B）に移動できるように、前記2つの側縁部間の中央ハウジング（9）内に摺動自在に取り付けられている請求項1～4のいずれか一項記載の所謂ホームオートメーションタイプの快適性管理システムの遠隔制御装置。

【請求項6】

前記ボックス（2）は、自動動作の2つのモードに対応する2つの位置と、手動動作のモードに対応する1つの位置と、に配置可能な請求項1～5のいずれか一項記載の所謂ホームオートメーションタイプの快適性管理システムの遠隔制御装置。

【請求項7】

前記ボックス（2）は、手動動作の2つのモードに対応する2つの位置と、自動動作のモードに対応する1つの位置と、に配置可能な請求項1～5のいずれか一項記載の所謂ホームオートメーションタイプの快適性管理システムの遠隔制御装置。

【請求項8】

前記支持部（3）に対する前記ボックス（2）の相対的な位置を示す手段を備えている請求項1～7のいずれか一項記載の所謂ホームオートメーションタイプの快適性管理システムの遠隔制御装置。

【請求項9】

前記遠隔制御ユニットは、動作モードの変化により、その動作エルゴノミクスが変更される請求項1～8のいずれか一項記載の所謂ホームオートメーションタイプの快適性管理システムの遠隔制御装置。

【請求項10】

前記位置（B）は、前記ボックス（2）が前記支持部から外れる位置である請求項1～9のいずれか一項記載の所謂ホームオートメーションタイプの快適性管理システムの遠隔制御装置。

【請求項11】

HVAC、開放可動パネル、太陽光の動的な遮断、又は照明などの制御対象装置（12）、遠隔制御ユニット、及び前記遠隔制御ユニットの支持部を含む所謂ホームオートメーションタイプの快適性管理システムであって、前記遠隔制御ユニットは、該遠隔制御ユニットと前記支持部の第1相対位置（A）において快適性管理の自動モードを作動させ、前記遠隔制御ユニットは、該遠隔制御ユニットと前記支持部の第2相対位置（B）において快適性管理の手動モードを作動させる所謂ホームオートメーションタイプの快適性管理システム。

【請求項12】

前記快適性管理の手動モードは、キーボードとRF送信機などの送信機を通じて実行される請求項11記載の所謂ホームオートメーションタイプの快適性管理システム。

【請求項13】

前記自動モードは、前記制御対象装置を前記遠隔制御ユニットの外に配置された自動手段によって制御することを許容する請求項11又は12記載の所謂ホームオートメーションタイプの快適性管理システム。

【請求項14】

前記自動モードは、前記制御対象装置を前記遠隔制御ユニット内に配置されたプロセッサによって制御することを実現する請求項11又は12記載の所謂ホームオートメーションタイプの快適性管理システム。

【請求項15】

自動及び手動モードは、前記自動モードにおいて、特定の手動コマンドを（或いは、前記手動モードにおいて、特定の自動コマンドを）許容するなどのオーバーラップした機能を含んでいる請求項11～14の中のいずれか一項記載の所謂ホームオートメーションタイプの快適性管理システム。